

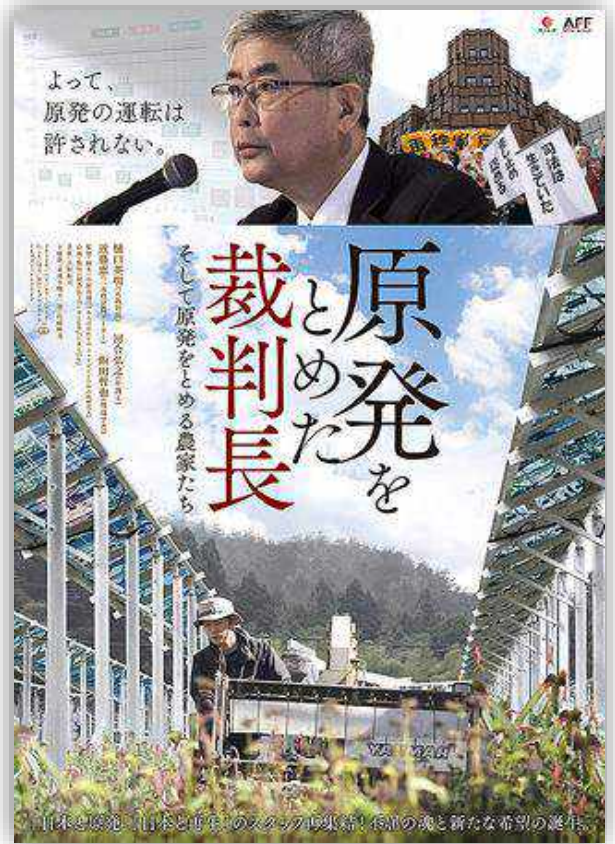
上映会のお知らせ

映画 「原発をとめた裁判長

そして原発をとめる農家たち」

～私のために子どもたちの未来のために 原発について考えよう！～

日本政府は、脱炭素とエネルギーの安定供給を理由に原発推進へ舵を切ろうとしています。今、自分の問題として本当にそれでいいのか考え行動するときです。映画を見て、一緒に考えませんか！



盛岡会場：12月3日(日) 14:00~15:30
盛岡市中央公民館大会議室(定員135名)
(盛岡市愛宕町14-1)

北上会場：12月10日(日) 10:00~11:30
北上市さくらホール会議室(定員40名)
(北上市さくら通り2丁目1-1)

参加対象：組合員(家族、ゲストの参加も可)
参加費：無料
申込み方法：申込書を業務便で盛岡センターへ提出
申込み切：11月24日(金)
問合せ先：センター TEL 019-658-9577
FAX 019-658-9533

※託児は北上市会場のみ有り(先着5名)

..... 切り取り

センター行き

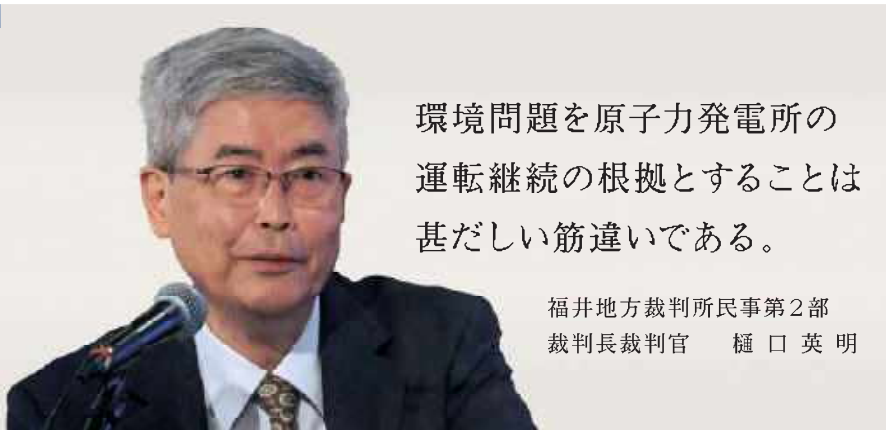
上映会に参加します

締切：11月24日

支部()班・個配コース名()名前()

参加会場に○を付けて トヤロ	盛岡市 中央公民館	参加人数 ()人 参加者名 () ()
	北上市 さくらホール	連絡先

託児(北上会場のみ) (お名前 才)(お名前 才)



環境問題を原子力発電所の
 運転継続の根拠とすることは
 甚だしい筋違いである。

福井地方裁判所民事第2部
 裁判長裁判官 樋口 英明



我が国の原発の耐震性は極めて低い。

原子力発電の危険性を伝えるために人生をかける元裁判長。
 放射能被災で一度はあきらめた農業を太陽光発電とともに蘇らせる福島の人々。
 使命をもった者たちの意思がスクリーンにみなぎる!!

2014年、関西電力大飯原発の運転停止命令を下した樋口英明・福井地裁元裁判長は、定年退官を機に日本のすべての原発に共通する危険性を社会に説く活動をはじめた。それは、原発が日本で頻発する地震に耐えられない構造であることを指摘するシンプルかつ、誰もが分かる揺るぎない“樋口理論”である。

そして、日本中の原発差止訴訟の先頭に立つ弁護士・河合弘之は、この“樋口理論”をもって新たな裁判を開始した。逆襲弁護士の異名をとる河合と元裁判長・樋口がタッグを組んで挑む訴訟の行方はいかに!



一方、被災地福島では放射能汚染によって一度は生業を離れた農業者・近藤恵が農地上で太陽光発電するソーラーシェアリングに農業復活の道を見出す。近藤は、反骨の環境学者・飯田哲也の協力を得て東京ドームの面積を超える日本最大級の営農型太陽光発電農場を始動させる!福島で太陽光発電農業を実践する農業者たちは口々に言う、「原発をとめるために!」と。脱原発への確かな理論と実践、被災から立ち上がる不屈の魂、そして若き農業者たちのふるさとへの思い——。原発事故11年目の今、エネルギー映画の決定版が誕生した!



樋口英明 河合弘之 近藤恵 飯田哲也 大内督 落合恵子(クレヨンハウス)

監督・脚本:小原浩靖『日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人』
 音楽:吉野裕司(Music studio Ram) | 企画:河合弘之 飯田哲也 小原浩靖
 製作:河合弘之『日本と原発』『日本と再生』
 主題歌「素速き戦士」歌:白崎映美(上々嵐風・東北6県ろ〜るショー!!)
 配給・宣伝:Kプロジェクト(株)ENTER the DEE
 2022年/日本/カラー/ビスタ/5.1ch/92分/©Kプロジェクト



Official site

saibancho-movie.com



twitter

@saibancho_movie



Facebook

@saibancho2022

